

- 高校3年生までの医療費無料化
- 家族の介護への緊急支援
- 国民健康保険料の引き下げ
- その他の重点政策と財源

日本共産党の

緊急区政提案

「賃金は上がらない」「年金は減るばかり」「景気は全くよくなる」
今こそ、最も身近な自治体が区民の命と暮らしを守る防波堤としての役割
を発揮するときです。医療や介護、子育ての負担軽減に全力をあげます。

日本共産党板橋区議団

いのち
暮らし
まもりたい

日本共産党区議会議員 かなざきふみこ

かなざき文子



命を守るはずの医療保険制度が逆さまに…

私にとって区議会議員28年間の中で一番重く、そして怒りを募らせてきたのが「高すぎる国民健康保険料」です。

一人当たりの平均国保料は20年前の1998年度6万5526円でした。ところが2018年度は10万3740円、約1.6倍もの負担増です。

国民健康保険の加入者は高齢者や障害者、無職、パートやアルバイトなど、収入が低い人々です。国保は社会的弱者ともいわれる人たちの医療を受ける権利を守る社会保障制度です。

この間寄せられてきた相談はどれも深刻です。高い保険料を払えず保険証がないため体の異常を感じなが

らも医者にかかれず、職場で倒れた時には末期がんで3日後に亡くなった内装業を営んでいたAさん。

給与が減られ、保険料が払えなくなり、差し押さえの通知を握りつぶして自ら命を絶った青年。

子ども5人に対する国保料均等割り額の負担が重く払えず、お金の問題で夫はDVに走り、暴力から逃げるしかなかったお母さんと子どもたち。着の身着のまままで逃げて生活保護を受けての暮らしに。

これが本当に命を守るはずの国民皆保険制度なのでしょうか。

今年もまた国保料の引き上げが予定されています。命を守る保険制度への改善を求め、今年も区長提案に対して対案をぶつけてがんばります。

プロフィール

1959年生まれ。兵庫県神戸市出身。大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。都立障害児学校、板橋区立小学校で教諭。現在区議7期目。健康福祉委員、東上線連続立体化・沿線安全対策調査特別委員会委員。家族は夫と子猫。趣味はうたうこと、山を登ること。

●主な活動地域●

栄町・中板橋・双葉町・宮本町・南常盤台・仲町・弥生町・氷川町・富士見町・大和町・常盤台1丁目60～68

日本共産党板橋区議団

力合わせて、みんなで実現しました

- ★認可保育園の増設 4年間で19ヶ所、1832人分
- ★特別養護老人ホーム新設4ヵ所360床増
- ★就学援助の入学準備金の増額、小学校は入学前支給も
- ★一部学校体育館の冷暖房化 いち早く提案し他党を動かす

提案1

高校3年生まで医療費無料化を!

貧困、格差の是正のために、子育て世代への経済的支援の底上げが必要です!

父母と共産党区議団の連携と、ねばり強い運動で実現——子どもの医療費無料化

今では当たり前になった中学3年生までの医療費無料化。実は長い年月をかけて実現したものです。はじめは3才まで、次は小学校に入る前までと一步一步前進させてきました。父母の議会への陳情と運動、日本共産党が条例提案を繰り返す中で（最初の提案は1987年）、実を結んだものです。今度は高校生まで。区議会では、日本共産党、市民クラブ、無所属の三会派の共同で条例提案をしました。自民、公明、民主ク(国民民主・立憲民主)の反対で実現していません。みなさんと力を合わせて、実現に向けて頑張ります。



全国で378自治体、約22%

高校3年生までの医療費無料化を実施している自治体が広がっています。

【入院・通院費とも助成している自治体】

東京都千代田区

埼玉県新座市、深谷市、北本市、行田市、熊谷市

桶川市、白岡市、秩父市、伊奈町、小鹿野町、

越生町、長瀬町、滑川町、皆野町、横瀬町、寄居町、東秩父村

【入院費のみ助成している自治体】

東京都北区

埼玉県朝霞市、志木市、鴻巣市（高校生等までの子どもを3人以上養育している多子世帯の保護者の扶養の者）



いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

2019年春号 日本共産党

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731

板橋 日本共産党

検索

inf@jcp-itabashi.gr.jp



ご意見・ご要望をお寄せください。

- 高校3年生までの医療費無料化
- 家族の介護への緊急支援
- 国民健康保険料の引き下げ
- その他の重点政策と財源

日本共産党の

緊急

区政提案

「賃金は上がらない」「年金は減るばかり」「景気は全くよくなりません」
今こそ、最も身近な自治体が区民の命とくらしを守る防波堤としての役割
を発揮するときです。医療や介護、子育ての負担軽減に全力をあげます。

日本共産党板橋区議団

日本共産党

変える よりそう政治に

板橋区議会議員 いわい きりこ

いわい桐子

ご意見・ご要望をお寄せください。

プロフィール

1973年生まれ、埼玉県草加市出身。
順天高等学校卒業、城北信用組合、中央合唱団、たんぽぽ福祉
訓練事業所に勤務。
2007年板橋区議会議員初当選。区議3期。現在、都市建設委
員長、高島平3丁目自治会副会長。趣味は、うたうこと、アウ
トドア、韓流ドラマ。家族は夫、息子（高1）、娘（中2）。

●主な活動地域●

高島平1～9丁目（2丁目除く）、新河岸1～3丁
目、四葉1～2丁目、蓮根3丁目

いわい桐子事務所
高島平7-20-17
電話(0904) 0448



Facebook、Twitter、
blogをやっています。

街の声にこたえて実現

●西台駅前の歩道拡幅

都営西台アパートの住民から、「駅前の歩道が狭くてこわい」と相談を受けたのが8年前。歩道幅の計測、危険な実態を繰り返し東京都へ要請。区議会一般質問でも取り上げ、住民と署名を集め、ようやく工事開始に。



●高島平郵便局の廃止延期とATM存続

「郵便局がなくなったら困る！」と不安の声が相次いだ高島平郵便局の閉鎖問題。国会議員とも連携して日本郵便（株）へ要請。区議会でも区から働きかけるよう要求。住民とともに閉鎖を延期に。簡易郵便局に納得できない声を再度、日本郵便（株）へ。ATMの2年存続が実現。

日本共産党板橋区議団

力合わせて、みんなで実現しました

- ★認可保育園の増設 4年間で19ヶ所、1832人分
- ★特別養護老人ホーム新設4カ所360床増
- ★就学援助の入学準備金の増額、小学校は入学前支給も
- ★一部学校体育館の冷暖房化 いち早く提案し他党を動かす

提案1

高校3年生まで医療費無料化を!

貧困、格差の是正のために、子育て世代への
経済的支援の底上げが必要です!

父母と共産党区議団の連携と、ねばり強い運動で実現 ——子どもの医療費無料化

今では当たり前になった中学3年生までの医療費無料化。実は長い年月をかけて実現したものです。はじめは3才まで、次は小学校に入る前までと一步一步前進させてきました。父母の議会への陳情と運動、日本共産党が条例提案を繰り返す中で（最初の提案は1987年）、実を結んだものです。今度は高校生まで。区議会では、日本共産党、市民クラブ、無所属の三会派の共同で条例提案をしました。自民、公明、民主（国民民主・立憲民主）の反対で実現していません。みなさんと力を合わせて、実現に向けて頑張ります。



全国で378自治体、約22%

高校3年生までの医療費無料化を実施している自治体が広がっています。

【入院・通院費とも助成している自治体】

東京都千代田区
埼玉県新座市、深谷市、北本市、行田市、熊谷市
桶川市、白岡市、秩父市、伊奈町、小鹿野町、
越生町、長瀨町、滑川町、皆野町、横瀬町、寄居町、東秩父村



【入院費のみ助成している自治体】

東京都北区
埼玉県朝霞市、志木市、鴻巣市（高校生等までの子どもを3人以上養育している多子世帯の保護者の扶養の者）

いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

2019年春号 **日本共産党**

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731

板橋 日本共産党

検索

inf@jcp-itabashi.gr.jp



ご意見・ご要望をお寄せください。

- 高校3年生までの医療費無料化
- 家族の介護への緊急支援
- 国民健康保険料の引き下げ
- その他の重点政策と財源

日本共産党の

緊急区政提案

「賃金は上がらない」「年金は減るばかり」「景気は全くよくならない」
今こそ、最も身近な自治体が区民の命と暮らしを守る防波堤としての役割
を發揮するときです。医療や介護、子育ての負担軽減に全力をあげます。

日本共産党板橋区議団

日本共産党

区民が主人公の
区政へ

板橋区議会議員

あらかわ なお

荒川なお

ご意見・ご要望をお寄せください。

昨夏、被爆地長崎を訪れました。改めて「74年前に何が起きたのか、戦争を知らない世代に引き継ぐ必要がある。平和憲法が生きる区政を実現させたい」という気持ちを強くしました。私は、2017年9月の本会議で『二度と広島・長崎の惨禍を繰り返さない』と謳った板橋区平和都市宣言の立場からも政府に対して核兵器禁止条約に批准することを求めるべきである」と区長に求めました。

また、憲法25条には「健康で文化的な最低限度の生活を営む」国民の権利が謳われています。「介護を受けたくても受けられない」「長時間労働と休日出勤が多く、自分の時間が取れない」などの切実な声にこたえる区政を実現し、誰もが人間らしく生きられる社会をつくるため、引き続き頑張ります。

●プロフィール●

1977年生まれ。板橋区出身。板橋区立板橋第五小学校・板橋区立板橋第二中学校卒業。東野高校卒業、東洋美術専門学校卒業。民青同盟板橋地区委員長。新日本スポーツ連盟理事歴任。監査委員。板橋区まちづくり調査特別委員長。同決算特別委員会副委員長歴任。◎趣味：美術・旅行・フットサル・水泳・マラソン（板橋 city マラソン 42.195 kmを5回完走）

●主な活動地域●

坂下、東坂下、舟渡、若木、西台、志村3丁目、相生町、蓮根1、2丁目
連絡先：荒川なお事務所
Tel 3960-8530

日本共産党板橋区議団

力合わせて、みんなで実現しました

- ★認可保育園の増設 4年間で19ヶ所、1832人分
- ★特別養護老人ホーム新設4カ所360床増
- ★就学援助の入学準備金の増額、小学校は入学前支給も
- ★一部学校体育館の冷暖房化 いち早く提案し他党を動かす

提案1

高校3年生まで医療費無料化を！

貧困、格差の是正のために、子育て世代への
経済的支援の底上げが必要です！

父母と共産党区議団の連携と、ねばり強い運動で実現 ——子どもの医療費無料化

今では当たり前になった中学3年生までの医療費無料化。実は長い年月をかけて実現したものです。はじめは3才まで、次は小学校に入る前までと一步一步前進させてきました。父母の議会への陳情と運動、日本共産党が条例提案を繰り返す中で（最初の提案は1987年）、実を結んだものです。今度は高校生まで。区議会では、日本共産党、市民クラブ、無所属の三会派の共同で条例提案をしました。自民、公明、民主（国民民主・立憲民主）の反対で実現していません。みなさんと力を合わせて、実現に向けて頑張ります。



全国で378自治体、約22%

高校3年生までの医療費無料化を実施している自治体が広がっています。

【入院・通院費とも助成している自治体】

東京都千代田区
埼玉県新座市、深谷市、北本市、行田市、熊谷市
桶川市、白岡市、秩父市、伊奈町、小鹿野町、
越生町、長瀨町、滑川町、皆野町、横瀬町、寄居町、東秩父村



【入院費のみ助成している自治体】

東京都北区
埼玉県朝霞市、志木市、鴻巣市（高校生等までの子どもを3人以上養育している多子世帯の保護者の扶養の者）

いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

2019年春号 日本共産党

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731

板橋 日本共産党

検索

inf@jcp-itabashi.gr.jp



ご意見・ご要望をお寄せください。

- 高校3年生までの医療費無料化
- 家族の介護への緊急支援
- 国民健康保険料の引き下げ
- その他の重点政策と財源

日本共産党の

緊急

区政提案

「賃金は上がらない」「年金は減るばかり」「景気は全くよくなるらない」
今こそ、最も身近な自治体が区民の命と暮らしを守る防波堤としての役割
を発揮するときです。医療や介護、子育ての負担軽減に全力をあげます。

日本共産党板橋区議団

日本共産党

いのち・暮らし
第一の区政に

板橋区議会議員 たけうち あい

竹内 愛

ご意見・ご要望をお寄せください。

毎月2回開催してきた生活相談会には、「生活が苦しい」「保険料が払えない」「保育園に入りたい」など、切実な声が寄せられています。1人ひとりの「困った」の声に耳を傾け、心を寄せる政治が必要です。今期は、区議団幹事長として、議会運営の改善にも積極的に取り組んできました。議会が、区政のチェック機能を果たし、みなさんの声を活かす区政を実現するため、引き続きがんばります。



プロフィール

1976年生まれ。福島県喜多方市出身。県立喜多方工業高校電子科卒・日本大学工学部電気工学科卒。東京土建一般労働組合書記を経て、2003年区議選で初当選。現在4期目。区議会文教児童委員会副委員長。区議団幹事長・党板橋地区委員会副委員長。中1、小4、年長児子育て中！

●主な活動地域●

高島平二丁目&徳丸1〜8丁目

日本共産党板橋区議団

力合わせて、みんなで実現しました

- ★認可保育園の増設 4年間で19ヶ所、1832人分
- ★特別養護老人ホーム新設4カ所360床増
- ★就学援助の入学準備金の増額、小学校は入学前支給も
- ★一部学校体育館の冷暖房化 いち早く提案し他党を動かす

提案1

高校3年生まで医療費無料化を！

貧困、格差の是正のために、子育て世代への
経済的支援の底上げが必要です！

父母と共産党区議団の連携と、ねばり強い運動で実現 ——子どもの医療費無料化

今では当たり前になった中学3年生までの医療費無料化。実は長い年月をかけて実現したものです。はじめは3才まで、次は小学校に入る前までと一步一步前進させてきました。父母の議会への陳情と運動、日本共産党が条例提案を繰り返す中で（最初の提案は1987年）、実を結んだものです。今度は高校生まで。区議会では、日本共産党、市民クラブ、無所属の三会派の共同で条例提案をしました。自民、公明、民主（国民民主・立憲民主）の反対で実現していません。みなさんと力を合わせて、実現に向けて頑張ります。



全国で378自治体、約22%

高校3年生までの医療費無料化を実施している自治体が広がっています。

【入院・通院費とも助成している自治体】

東京都千代田区
埼玉県新座市、深谷市、北本市、行田市、熊谷市
桶川市、白岡市、秩父市、伊奈町、小鹿野町、
越生町、長瀨町、滑川町、皆野町、横瀬町、寄居町、東秩父村



【入院費のみ助成している自治体】

東京都北区
埼玉県朝霞市、志木市、鴻巣市（高校生等までの子どもを3人以上養育している多子世帯の保護者の扶養の者）

いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

2019年春号 日本共産党

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731

板橋 日本共産党

検索

inf@jcp-itabashi.gr.jp



ご意見・ご要望をお寄せください。

- 高校3年生までの医療費無料化
- 家族の介護への緊急支援
- 国民健康保険料の引き下げ
- その他の重点政策と財源

日本共産党の

緊急

区政提案

「賃金は上がらない」「年金は減るばかり」「景気は全くよくなる」
今こそ、最も身近な自治体が区民の命と暮らしを守る防波堤としての役割
を発揮するときです。医療や介護、子育ての負担軽減に全力をあげます。

日本共産党板橋区議団

日本共産党

くらしを守り
商売を支える
区政へ

板橋区議会議員 よしだ とよあき

吉田豊明

ご意見・ご要望をお寄せください。

板橋区議会に送り出していただいて、まもなく4年。区民のみなさんの生活や福祉の向
上をめざして全力で取り組んできました。

安倍自民・公明政権のもと、平和が脅かされ、暮らしが壊されています。坂本区政もまた、
区民の暮らしを支える事業を削って税金をため込み、大規模開発を最優先に進めようとし
ています。

私は区民のみなさんと力を合わせ、区民の切実な要求の実現、暮らし優先の板橋区政
への転換をめざし、ひきつづき全力でがんばります。

プロフィール

1959年板橋区赤塚生まれ。赤塚小学校、赤塚第三中学校、都立板橋高校、
中央大学商学部卒業。
卒業後家族とともに小売酒販店経営。2015年板橋区議会議員。区民環
境委員、農業委員、日本共産党板橋区議団副幹事長。板橋民商副会長。
東京小売酒販組合志村支部役員。板橋練馬たばこ商業協同組合理事

●主な活動地域●

赤塚1丁目～8丁目、成増1丁目～5
丁目、赤塚新町1丁目～3丁目、大門、
三園1丁目～2丁目

連絡先：吉田豊明事務所 成増1-5-24
電話 3975 - 5506

日本共産党板橋区議団

力合わせて、みんなで実現しました

- ★認可保育園の増設 4年間で19ヶ所、1832人分
- ★特別養護老人ホーム新設4カ所360床増
- ★就学援助の入学準備金の増額、小学校は入学前支給も
- ★一部学校体育館の冷暖房化 いち早く提案し他党を動かす

提案1

高校3年生まで医療費無料化を！

貧困、格差の是正のために、子育て世代への
経済的支援の底上げが必要です！

父母と共産党区議団の連携と、ねばり強い運動で実現 ——子どもの医療費無料化

今では当たり前になった中学3年生までの医療費無料化。実は長い年月をかけて実現
したものです。はじめは3才まで、次は小学校に入る前までと一步一步前進させてきまし
た。父母の議会への陳情と運動、
日本共産党が条例提案を繰り返
す中で（最初の提案は1987年）、
実を結んだものです。今度は高校
生まで。区議会では、日本共産党、
市民クラブ、無所属の三会派の共
同で条例提案をしました。自民、
公明、民主（国民民主・立憲民主）
の反対で実現していません。みな
さんと力を合わせて、実現に向け
て頑張ります。



全国で378自治体、約22%

高校3年生までの医療費無料化を実施して いる自治体が広がっています。

【入院・通院費とも助成している自治体】

東京都千代田区
埼玉県新座市、深谷市、北本市、行田市、熊谷市
桶川市、白岡市、秩父市、伊奈町、小鹿野町、
越生町、長瀬町、滑川町、皆野町、横瀬町、寄居町、東秩父村



【入院費のみ助成している自治体】

東京都北区
埼玉県朝霞市、志木市、鴻巣市（高校生等までの子どもを3人以上養育し
ている多子世帯の保護者の扶養の者）

いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

2019年春号 **日本共産党**

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731

板橋 日本共産党

検索

inf@jcp-itabashi.gr.jp



ご意見・ご要望をお寄せください。

- 高校3年生までの医療費無料化
- 家族の介護への緊急支援
- 国民健康保険料の引き下げ
- その他の重点政策と財源

日本共産党の

緊急区政提案

「賃金は上がらない」「年金は減るばかり」「景気は全くよくなりません」
今こそ、最も身近な自治体が区民の命と暮らしを守る防波堤としての役割
を発揮するときです。医療や介護、子育ての負担軽減に全力をあげます。

日本共産党板橋区議団

日本共産党

福祉・くらし
第一の区政に

板橋区議会議員 こばやし おとみ

小林おとみ

ご意見・ご要望をお寄せください。

まちの人たちの声が、何よりも私の議会活動の支えです。「年金だけでは暮らせない」「医療費の負担が重い」「介護保険が使えない」「保育園に入れてほしい」……人間らしいくらしを願うみんなの思いが政治を変える力です。

「地方自治」は住民の命とくらしを守り、平和と民主主義を実現するためにあります。大企業の儲けの場、国の下請け機関ではありません。板橋から政治を変えるために、一緒に力を合わせましょう。

プロフィール

1956年8月6日生まれ。本町在住
企画総務委員会（委員）
子どもの貧困対策調査特別委員会（委員）
板橋区出身。区立大谷口小、上板橋第一中学校、都立北園高校、和光大学人文学部卒業、前職は労働組合書記。
1999年板橋区議初当選。区議5期。監査委員、農業委員、決算調査特別委員長など。

●主な活動地域●

本町、稲荷台、仲宿、泉町、大原町、清水町、蓮沼町、小豆沢1丁目～4丁目

◎連絡先

小林おとみ事務所（6454）9898

日本共産党板橋区議団

力合わせて、みんなで実現しました

★認可保育園の増設 4年間で19ヶ所、1832人分

★特別養護老人ホーム新設4カ所360床増

★就学援助の入学準備金の増額、小学校は入学前支給も

★一部学校体育館の冷暖房化 いち早く提案し他党を動かす

提案1

高校3年生まで医療費無料化を！

貧困、格差の是正のために、子育て世代への
経済的支援の底上げが必要です！

父母と共産党区議団の連携と、ねばり強い運動で実現 ——子どもの医療費無料化

今では当たり前になった中学3年生までの医療費無料化。実は長い年月をかけて実現したものです。はじめは3才まで、次は小学校に入る前までと一步一步前進させてきました。父母の議会への陳情と運動、日本共産党が条例提案を繰り返す中で（最初の提案は1987年）、実を結んだものです。今度は高校生まで。区議会では、日本共産党、市民クラブ、無所属の三会派の共同で条例提案をしました。自民、公明、民主（国民民主・立憲民主）の反対で実現していません。みなさんと力を合わせて、実現に向けて頑張ります。



全国で378自治体、約22%

高校3年生までの医療費無料化を実施している自治体が広がっています。

【入院・通院費とも助成している自治体】

東京都千代田区

埼玉県新座市、深谷市、北本市、行田市、熊谷市

桶川市、白岡市、秩父市、伊奈町、小鹿野町、

越生町、長瀨町、滑川町、皆野町、横瀬町、寄居町、東秩父村

【入院費のみ助成している自治体】

東京都北区

埼玉県朝霞市、志木市、鴻巣市（高校生等までの子どもを3人以上養育している多子世帯の保護者の扶養の者）



いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

2019年春号 **日本共産党**

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731

板橋 日本共産党

検索

inf@jcp-itabashi.gr.jp



ご意見・ご要望をお寄せください。

- 高校3年生までの医療費無料化
- 家族の介護への緊急支援
- 国民健康保険料の引き下げ
- その他の重点政策と財源

日本共産党の

緊急区政提案

「賃金は上がらない」「年金は減るばかり」「景気は全くよくなるらない」
今こそ、最も身近な自治体が区民の命と暮らしを守る防波堤としての役割
を発揮するときです。医療や介護、子育ての負担軽減に全力をあげます。

日本共産党板橋区議団

日本共産党

あなたの声を
まっすぐ区政へ

板橋区議会議員 やまうちえり

山内 えり

ご意見・ご要望をお寄せください。

区議会議員になってまもなく4年。私が最も心掛けてきたことは、相談活動や日々の生活の中でいただいたご意見を、どう区政に生かすかということです。「みなさんの声をまっすぐ区政に届ける」「区民のための区政にする」。この立場で引き続きがんばります。

●区設掲示板が2019年度中に雨風のしる改善へ●
「風が吹くとお知らせが剥がれて困る」と地域のみなさんから苦勞の話を聞きました。そこで、地域のみなさんと区に交渉。区議会での質問を繰り返す行なうなかで区内300カ所において、雨風のしる改善が進んでいます。2019年度中には区内すべての区設掲示板(1662カ所)が改善されます。

プロフィール

1978年2月28日生まれ
都市建設委員会(委員)
東武東上線連続立体化・沿線安全対策調査特別委員会(委員)
大山町在住。
区立中台小、中台中学校、都立文京高校、聖徳栄養短期大学卒業。
管理栄養士として区内病院勤務を経て区議1期。文教児童委員3年。
趣味は旅行、ヴァイオリン

●主な活動地域●

大山町、大山東町、大山金井町、熊野町、中丸町、南町、板橋1～4丁目、加賀1～2丁目

◎連絡先

山内えり事務所 大山東町59-6
電話(3962)0188

日本共産党板橋区議団

力合わせて、みんなで実現しました

- ★認可保育園の増設 4年間で19ヶ所、1832人分
- ★特別養護老人ホーム新設4カ所360床増
- ★就学援助の入学準備金の増額、小学校は入学前支給も
- ★一部学校体育館の冷暖房化 いち早く提案し他党を動かす

提案1

高校3年生まで医療費無料化を!

貧困、格差の是正のために、子育て世代への経済的支援の底上げが必要です!

父母と共産党区議団の連携と、ねばり強い運動で実現——子どもの医療費無料化

今では当たり前になった中学3年生までの医療費無料化。実は長い年月をかけて実現したものです。はじめは3才まで、次は小学校に入る前までと一步一步前進させてきました。父母の議会への陳情と運動、日本共産党が条例提案を繰り返す中で(最初の提案は1987年)、実を結んだものです。今度は高校生まで。区議会では、日本共産党、市民クラブ、無所属の三会派の共同で条例提案をしました。自民、公明、民主(国民民主・立憲民主)の反対で実現していません。みなさんと力を合わせて、実現に向けて頑張ります。



全国で378自治体、約22%

高校3年生までの医療費無料化を実施している自治体が広がっています。

【入院・通院費とも助成している自治体】

東京都千代田区
埼玉県新座市、深谷市、北本市、行田市、熊谷市
桶川市、白岡市、秩父市、伊奈町、小鹿野町、越生町、長瀨町、滑川町、皆野町、横瀬町、寄居町、東秩父村

【入院費のみ助成している自治体】

東京都北区
埼玉県朝霞市、志木市、鴻巣市(高校生等までの子どもを3人以上養育している多子世帯の保護者の扶養の者)



いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

2019年春号 **日本共産党**

発行責任者: 日本共産党板橋区議会議員団 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731

板橋 日本共産党

検索

inf@jcp-itabashi.gr.jp



ご意見・ご要望をお寄せください。

家族介護、老々介護、認々介護に 今すぐ区政の支援を

区民アンケートに「もう限界」の声

- ・「介護施設がないと家庭は崩壊する。子育てと介護の両立は無理」(30代女性)
- ・「介護に携わる人たちの賃金をあげてほしい。賃金が安すぎる」(30代女性)
- ・「高齢者の介護を家族や親族にゆだねるのはもはや無理」(40代男性)
- ・「優先して予算を増やして」(30代男性)

日本共産党区議団の区民アンケート(2017年度末に実施 1561人が回答)の自由記入欄(553人が記入)には、介護や高齢者の支援について切実な声が寄せられています。

- ◎介護保険料を引き上げず、区の独自軽減を拡充します。
- ◎利用料の区独自の軽減で、必要な介護を保障します。
- ◎特別養護老人ホームの増設と居室料への助成を行います
- ◎「家族介護手当」など家族介護の支援を強化します。
- ◎低すぎる介護現場で働く職員の処遇を改善します。



許せません、介護切り捨ての自民・公明

自民・公明政権は、特別養護老人ホームの入所対象から要介護1・2をはずし、利用料の2割、3割を導入しました。板橋区においても、区長とともに、保険料を引き上げてきました。

国民健康保険料 値下げを直ちに!

サラリーマンの保険は家族の人数が保険料に影響することはありません。子どもの数が多いほど保険料が引きあがる国民健康保険料の「均等割」は不平等です。全国知事会が要求している「1兆円の公費投入」が実現すれば、こうした不平等をなくし保険料を引き下げられます。

せめて子どものいる世帯の保険料の軽減を区独自で行うための条例を三会派共同で提案しました。(2018年12月)。自民、公明、国民民主、立憲民主が反対しましたが、共産党区議団は引き続き実現をめざします。

以上の他にも

- 認可保育園を増設し、保育園待機児を解消します。
- 区立小中学校の学校給食費を無料にします。
- 住宅リフォーム助成・空き店舗助成で、中小業者を支援します。
- 耐震補強工事助成の拡充、感震ブレーカーの設置助成を行います。
- 小中学校の体育館の冷暖房化を全校で実現します。
- すべての公園・公衆トイレの洋式化を実現します。



区政で問われているのは、
ため込まれた税金の使い方

坂本区政の12年間だけで約368億円もお金が基金に積み増されました。基金が最高額に達したのは、区民のための事業を徹底して削減したためです。集会所や児童館などの公共施設の削減・縮小・学校の統廃合、窓口を含む民間委託の拡大や区職員の削減、敬老入浴券など区独自の福祉事業の縮小です。さらに保育料や区施設の

利用料、使用料、医療や介護の保険料も軒並み値上げされました。

一方で、基金積み立て目標に大規模再開発など「都市計画事業」を明記。大山駅周辺、板橋駅前、上板橋南口、旧高七小跡地を中心に大規模開発事業だけがスピードを加速しています。

こうしてため込まれた基金を活用し、税金の使い方を変えれば、区民の暮らしを守り、福祉や教育を充実させることができます。

たとえば

日本共産党の予算修正提案 —財調基金 1.5%で実現できます

日本共産党区議団は2018年度予算に対し、感震ブレーカー設置助成、認証保育所の保育料軽減、就学援助の入学準備金の増額と前倒し支給、就学援助に中学校の部活費用を、広島、長崎に派遣している中学生平和の旅を沖縄に拡充、産後一か月健診助成などを求めた修正を提案。これは区が自由に使える財政調整基金の1.5%でできます。

←この提案に自民党・公明党は… 基金の活用には反対

ムダづかいには容認

財源が「基金」だからダメと反対。一方で、区長に4年に1度支払われる2千万円の退職金廃止の共産党提案には「区長が決めること」として反対。

国政では野党の立憲民主党、国民民主党は、区政では自民党・公明党に同調。区政でも反自・公の立場に立つべきではないでしょうか。